



T-POINT

NEWS RELEASE

2011年6月15日

各位

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社

## **Tポイントアライアンス企業 70 社 共同プロジェクト 「Tカード提示で被災地に児童館を。」 ～あなたのTカード提示が、子どもたちの笑顔につながる児童館になります。～**

共通ポイントサービス“Tポイント”を運営するカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社(東京本社:東京都渋谷区、代表取締役社長兼 CEO:増田宗昭、以下 CCC)は、Tポイントアライアンス企業 70 社との共同プロジェクト「Tカード提示で被災地に児童館を。」を、2011年6月28日から2012年3月31日までの約9ヵ月間に渡り実施いたします。

CCCは、これまで、東日本大震災の被災地域住民の方々への生活支援に向けた義援金としての「Tポイント募金」、また避難所での生活を余儀なくされている被災者の方々への文化的支援を目的とした「こころ+プロジェクト」など、東日本大震災からの復旧・復興へ向けた取り組みを行ってまいりました。

この度の取り組みは、Tポイントアライアンス企業 70 社、全国約 35,000 店舗のネットワークと、日本人口の4分の1以上となる3,736万人のT会員のネットワークとをつなぐ支援を目的として、東日本大震災の被災地でこれからの未来を担う子どもたちのための児童館を建設する「Tカード提示で被災地に児童館を。」プロジェクトを立ち上げます。

CCCは、本プロジェクトをきっかけとして、“Tカードを提示して、Tポイントを貯める”というT会員一人ひとりの行動が日本経済の活性化と、東日本大震災被災地の復興貢献、被災された方々への継続的な支援となることを目指します。そしてCCCとTポイントアライアンス企業一同は、Tポイントを人と人を、人と社会をつなげるみんなのポイントとして、今後も活動を続けてまいります。

### **「Tカード提示で被災地に児童館を。」プロジェクト概要**

T会員のお客様が対象期間にTカードを提示、またはポイント申請いただいて付与されたTポイント総付与数の1%(1)、および対象期間にTサイトよりエントリーされた方の期間中に貯まったTポイント総数(2)を1ポイント=1円に換算して、東日本大震災の被災地の行政を通じ、全額を児童館建設に関する費用にあて、被災された子どもたちのための児童館を被災地に作ります。

(1)Tポイントをたくさん貯めて支援する

T会員のお客様が対象期間にTカードを提示、またはポイント申請いただいて付与されたTポイント総付与数の1%を1ポイント=1円に換算した金額をCCCが拠出し、児童館建設の寄付金といたします。

対象期間:2011年6月28日(火)～2011年7月31日(日)

「カルチュア・インフラ」を、つくっていくカンパニー。



## (2) 支援宣言エントリーをして支援する

T サイト内 (<http://tsite.jp/>) のプロジェクト特設ページより支援宣言エントリーをされた T 会員のお客様が対象期間に貯めた全ての T ポイントを 1 ポイント=1 円に換算して、児童館建設の寄付金といたします。  
対象期間:2011 年 6 月 28 日(火)~2012 年 3 月 31 日(土)

### ■本プロジェクトに参加する T ポイントアライアンス企業 (50 音順)

アートコーポレーション株式会社、RH トラベラー株式会社、青山商事株式会社、株式会社アキナジスタ、株式会社アプラス、株式会社アマナイメーجز、株式会社アルペン、SK Marketing & Company Co., Ltd.、エヌ・ティ・ティ・ナビスペース株式会社、株式会社オートバックスセブン、株式会社オープンキューブ、株式会社カカコム、株式会社カラース、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社、株式会社キタムラ、株式会社近畿大阪銀行、近畿日本ツーリスト株式会社、株式会社クラブネッツ、株式会社埼玉りそな銀行、株式会社 CM サイト、JX 日鉱日石エネルギー株式会社、株式会社ジェーシービー、ジー・プラン株式会社、シダックス・コミュニティー株式会社、株式会社ジャックス、株式会社十六銀行、株式会社すかいらーく、株式会社スタイルデザイナー、株式会社スタンダード、株式会社スリーエフ、全日空商事株式会社、株式会社ちょびリッチ、株式会社 TSUTAYA GALAPAGOS、株式会社東急ホテルズ、ドッグプラネット株式会社、ドトールコーヒー株式会社、株式会社ドラッグイレブン、日総工産株式会社、ニッポンレンタカーサービス株式会社、ネットオフ株式会社、株式会社ネットマイル、株式会社阪急阪神ホテルズ、株式会社ビーデリサービス、日立コンシューマエレクトロニクス株式会社、ビットワレット株式会社、ファイブゲート株式会社、株式会社ファミリーマート、富士シティオ株式会社、ブルーチップ株式会社、ボシュロム・ジャパン株式会社、HOYA 株式会社、株式会社マーケットプレイス、株式会社毎日新聞社、株式会社 Misumi、三井住友カード株式会社、三井不動産販売株式会社、株式会社三菱東京 UFJ 銀行、株式会社ミニミニ、モバイル・コマース・ソリューション株式会社、ヤフー株式会社、株式会社ゆうちょ銀行、株式会社ユニバーサルホーム、夢の街創造委員会株式会社、株式会社リアラス、株式会社りそな銀行、株式会社レイズインターナショナル、株式会社ロツテリア、株式会社ワールド、YKK AP 株式会社、株式会社 WOWOW



本件に関するお問い合わせ:

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社  
広報担当: 安藤  
TEL: 03-6800-4464 / FAX: 03-3760-6020

「カルチュア・インフラ」を、つくっていくカンパニー。





### ●「Tカード提示で被災地に児童館を。」プロジェクト メッセージ

2011年3月11日。

日本を襲った今回の大震災で、この国は本当に多くのものを失いました。  
日本全国、地域の暮らしと密着しながらともに成長してきた  
私たちにとっても、それは本当に大きな衝撃であり悲しみでした。  
人と人がつながり、語り合い、笑い合える。  
そんないつもの生活を被災地の皆さまが少しでも早く取り戻すために、  
いま私たちTポイントができること。

それは、全国のお客さま1ポイント1ポイントの  
積み重ねが、被災地の皆さまの希望に満ちた未来につながるのだと考えました。  
そのため、私たちは子どもたちの笑顔を取り戻すお手伝いをします。  
具体的には、被災地において失われてしまった、  
子どもたちの笑顔が集まる場所である児童館を  
必要とされている場所に建設します。

支援に仕方はとっても簡単。お客さまがTポイント提携店でTカードを  
提示することで、児童館の建設につながるシンプルな支援方法です。  
ショッピングを楽しむ、おいしいものを食べる、  
美しい映像作品に感動する。そんな毎日の暮らしの中から始まる支援。  
そうやって経済を前向きに動かしていく事が、  
子どもたちの未来をサポートするだけ  
でなく、ひいては日本の復興にも  
つながると信じています。

私たちは、はじめます。  
人と人を、人と社会をつなげる  
みんなのポイントであるために。

### ●どうして児童館なの？

今回の東日本大震災で、Tポイントとして、どんな支援ができるのか。  
その答えを見つけるために、私たちは被災地を訪問しました。  
被災地では、本当にたくさんのが失われていました。  
その中のひとつが「児童館」です。

避難所や仮設住宅での生活では、「子どもたちの集まれる場」や「笑顔で遊べる場」が少なく、  
子どもたちが大声を出したり本気で遊んだりすることができなくなっています。  
行政とお話をする中、そんな子どもたちのための場所が必要であることが分かり  
私たちは「児童館」を建設することにしました。

子どもたちを笑顔にしたい。  
子どもたちの笑顔にふれた大人たちがほほえむ環境を作りたい。  
そんなおもいで、私たちTポイントは被災地に、  
笑顔につながる「児童館」を建設します。

「カルチャー・インフラ」を、つくっていくカンパニー。

